

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県	市町村名	霧島市	地区名	国分中央地区	面積	291ha			
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施予定時期	平成23年度	モニタリング実施時期	平成21年3月	交付対象事業費	920百万円	国費率	0.401	
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	【道路】向花清水線、平和通線 【地域生活基盤施設】市民広場、国分駅東口自転車駐車場 【高次都市施設】ベデストリアンデッキ			事業進捗の状況(順調か、遅れているか)				
		提案事業	雨水幹線1号排水路			計画とおりに進行している				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】中央1号線			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	【地域創造支援事業】雨水幹線1号排水路			調査・設計を含めた事業計画を再検討し、次期計画へ移行することとしたため		回遊性の高いまちづくりの創出に関連するが、指標及び数値目標は据え置く		
	新たに追加した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】雨水幹線1号排水路、ポケットパーク 【高質空間形成施設】川跡5号線			制度拡充に伴い提案事業から基幹事業へ移行したため。中心市街地における快適な歩行空間の確保とまちなか		浸水被害の軽減による安心・安全なまちづくり、回遊性の高いまちづくりの創出に関連するが、指標及び数値目標は据え置く		
		提案事業	【事業活用調査】事業効果分析			モニタリング調査、事後評価調査を実施し、事業進捗状況、目標達成の度合い等について把握するため		影響はない		
交付期間の変更	当初	平成19年度～23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	モニタリング	目標	総合所見		今後の対応方針	
	指標1	中心市街地における1日あたりの歩行者数	人/日	5,746	H18 6,900 H23	2,406	H21	あり	従前値計測と当モニタリング時計測で歩行者観測地点数が異なっているため、指標改善等の要因を評価できない。比較可能な地点での総歩行者交通量は、H19年までの横ばい傾向がH20年で大幅な増加を示している。よって事業が完了したベデストリアンデッキ(H20年度)、市民広場(H19年度)の事業実施による一定の事業効果が、国分山形屋とパークプラザといった拠点施設のとの相乗効果により発現できたと言える。	今後とも事業推進により回遊性の高い歩行者空間の創出を図る。指標については、従前値と当モニタリング時計測値が測定地点数の減などにより、数値の乖離が生じていることから、比較可能な測定地点の歩行者数に基づき、従前値及び目標値の見直しを行う
	指標2	中心市街地内の幹線道路(都市計画道路)整備率	%	63	H18 68 H23	66	H21	あり	向花清水線の整備により、効果発現に直接的に寄与している。また、国分駅東口自転車駐車場の整備により、駅利用者の利便性向上に資する都市施設の改善として間接的に貢献しているものと考えられる。	今後とも、各事業の推進による骨格強化及び生活密着性の高い道路及び交通施設整備を図るとともに、回遊性の高い魅力的な歩行空間の整備を図る。現指標は、「道路の質の改善と回遊性の向上」に資する事業の整備指標(アウトカム指標)としては、説明力に欠けるため、事業効果が的確に把握できる指標への見直しを行う
	指標3	床下浸水被害棟数	棟	138	H18 26 H23	-	-	あり	雨水幹線1号排水路は整備が完了しているものの、関連する事業区間が未着手の状況であるため、効果が発現していない。	関連する事業区間の早期の事業化を図る。
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	モニタリング	目標	総合所見		今後の対応方針	
	その他の数値指標1	中心市街地が活性化しているかに関する満足度	%	46	H18	47	H21	なし	若干ながら満足度が向上しつつあることから、一定の効果発現があるものと考えられる。	満足度のさらなる向上を図るべく、回遊性の向上に資する事業の推進を図る
その他の数値指標2	身近な生活道路の移動しやすさに関する満足度	%	60	H18	64	H21	なし	満足度の向上とともに、不満と思う割合も減少しつつあることから、一定の効果発現があるものと考えられる。	満足度のさらなる向上を図るべく、道路の質の改善と回遊性の創出に資する事業の推進を図る	
4)定性的な効果発現状況	既に整備が完了している「市民広場」では、平成19年7月の開業から現時点まで「まちなか音楽会」が計8回、「フリーマーケット」が毎月1回(偶数月は2回)開催されている。このことから、市民広場の整備により中心市街地内の回遊性・快適性の向上に寄与したと同時に、「まちなか音楽会」、「フリーマーケット」といった集客性の高いイベント空間として活用されたことにより、中心市街地での賑わいの創出といった定性的な効果が発現されているものと考えられる。									
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた							
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり団体(川跡ちようちん通り会)との協力			都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 環境整備活性化構想実現に向け、川跡5号線、ポケットパークの整備を推進する			
6)モニタリングの所見	総合所見	順調	● 一部指標改善の評価ができない事業があるものの、一定の事業効果の発現はみられ、事業は概ね計画通りに進捗していることから、「順調」であると評価される。			今後の事業の改善点		● 指標1は歩行者観測地点の変更に伴い、比較可能な測定地点の歩行者数に基づき、従前値及び目標値の見直しを行う ・指標2は現指標で目標達成は見込まれるものの、「道路の質の改善と回遊性の向上」に資する事業の整備指標(アウトカム指標)としては、説明力に欠けるため、事業効果が的確に把握できる指標への見直しを行う		
		要改善								